

2. Scope of Claim for Utility Model Registration

A cushion unit attachment device in a rear wheel suspension,

wherein: a support member which supports a bolt for attaching a cushion unit is arranged in a position between two arm members of a rear swing arm;

a tubular member supported by each arm member is fixed oppositely to a bolt supporting section of the support member;

a center hole of the tubular member is directed to the bolt; and

a diameter of the center hole is formed in such a size that the bolt and a rotary tool for the bolt are penetrable.

⑬ Int. Cl.³
B 62 K 25/26

識別記号

庁内整理番号
2105—3D

⑭ 公開 昭和57年(1982)4月21日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑮ 後輪懸架装置におけるクッションユニット取
付装置

⑯ 実 願 昭55—144946

⑰ 出 願 昭55(1980)10月11日

⑱ 考 案 者 古山忠明

静岡県磐田郡竜洋町海老島389
の1⑲ 出 願 人 鈴木自動車工業株式会社
静岡県浜名郡可美村高塚300番
地

⑳ 代 理 人 弁理士 専優美 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

リヤスイングアームの2本のアーム部材に挟まれる位置に、クッションユニット取付用のボルトを支持する支持部材を配し、該支持部材の前記ボルト支持部に対応する位置に、前記両アーム部材にそれぞれ支持させて管状部材を固定すると共に、該管状部材の中央孔を前記ボルト方向に向け、該中央孔の径を前記ボルトと前記ボルト用の回転工具とが通過し得る大きさとしたことを特徴とする、

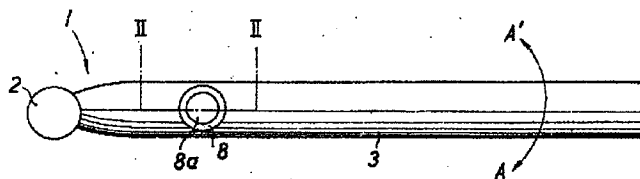
後輪懸架装置におけるクッションユニット取付装
置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案のリヤスイングアームの要部側面図、第2図は第1図のII—II線に沿った断面を含むリヤスイングアームの要部平面図である。

1…リヤスイングアーム、3…アーム部材、4…補強材、5…支持部材、6…ボルト、7…ナット、8…管状部材、8a…中央孔。

第1図



第2図

